

令和 6 年度

「運営に関する計画」  
中間評価

令和 6 年 10 月

大阪市立東粉浜小学校

(様式 2-1)

大阪市立東粉浜小学校 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】</b></p> <p>○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことがありますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 85%以上にする。(R5 年度 76.3%)</p> <p>○小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 87%以上にする。(R5 年度 84.6%)</p> <p>○小学校学力経年調査における「将来の夢や目標をもっていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 87%以上にする。(R5 年度 84.6%)</p> <p>○生活振り返りカード（東粉浜マイスタークード）の各項目について毎月保護者と児童が話し合い、学校や家庭生活を振り返り、自己の課題を明確にして改善に取り組む。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p><b>いじめ・不登校への対応</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・いじめや不登校など配慮が必要な児童の問題解決について、各学級担任・生活指導部長・養護教諭・管理職が連携して、組織的かつ外部機関とも連携しながら丁寧に対応していく。</li><li>・いじめ（いのち）について考える日や道徳授業において、いじめ（いのち）について深く考える授業を行う。</li></ul>	B
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・配慮や支援の必要な児童について、スクリーニングシートの活用や共通理解の場を月一回設ける。</li><li>・いじめ（いのち）について考える日や道徳授業において、学期に 1 回以上いじめに関する指導を行い定期的にいじめについて考える機会を設ける。</li></ul>	
<p>取組内容②【1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p><b>防災・減災教育の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・火災や地震・津波の避難訓練、引き取り訓練、不審者対応訓練、救急救命講習会などを計画し、区役所、警察、消防署などとも連携しながら、取組を進める。</li><li>・子どもの意識を高めるため、防災学習に取り組む。</li></ul>	B
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・避難訓練、引き取り訓練、防災学習等、様々な状況を想定した命を守る学習を計画的に実施する。</li></ul>	

<p>取組内容③【2 豊かな心の育成】</p> <p><b>自尊感情の育成</b></p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の授業や学級活動、他学年との交流活動を通して、自分のよさに気づいたり、仲間に認められたりする場を設ける。</li> </ul>	( )
<p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活振り返りカードにおいて、「まわりにいる人から、『ありがとう』や『すごいね』と言われたことがありますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上で維持する。(R5 年度 94.0%)</li> </ul>	B
<p>取組内容④【2 豊かな心の育成】</p> <p><b>道徳教育の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>道徳教育の充実を図り、子ども同士が意見を交流することができる授業を展開するため、道徳教育推進教師による研修会などを活用して、学校全体での授業の方法や評価のあり方に対する理解を深める。</li> </ul>	( )
<p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>道徳科における研修会などを活かし、1 日学校公開日を年間 1 回の「道徳の日」と設定し、その日の様子をホームページに公開し、保護者や地域に発信する。</li> </ul>	
<b>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</b>	
<p>① 「いいとこみつけ」の機能を活用して、隨時、児童の情報を共有している。また、共通理解の場を月 1 回設け、気になる児童について全教職員が認識している。さらに担任・特別支援学級担当・生活指導部長・人権教育主担・管理職と連携して、組織的に本人や保護者の思いに寄り添った対応をするように心がけている。</p> <p>・「いじめ (いのち)」について考える機会として、5 月 13 日の「いじめ (いのち)」について考える日」や日々の道徳の授業を通して、定期的に実践している。2 学期以降も児童朝会や学年の実態に応じた計画に基づいて意識的に取り組んでいる。</p> <p>② 避難訓練、引き渡し訓練、交通安全指導、救急救命講習会、防災学習を区役所、警察、消防署、日本赤十字社などと連携しながら実施したり、津波高潮ステーションや阿倍野防災センター、住吉消防署への社会見学を行ったりして防災・減災の意識を高められている。また、昨年度の反省を生かした新たな形の不審者対応訓練も今後実施予定である。生活振り返りカードにおいて、「安全に気をつけて生活している」と肯定的に回答した児童の割合は 95.6%であったので、今後も折を見て継続した取り組みを行っていくことが必要である。</p> <p>③ グループを固定したたてわり班活動を継続したり、異学年交流をしたり、各学級でいいところを見つけ合う取り組みをしたり、授業中などで認め合いをしたりすることで、周囲から褒められたり感謝されたりする機会が多くなっている。生活振り返りカードにおいて、「まわりにいる人から、『ありがとう』や『すごいね』と言われたことがありますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合が約 93%と高い結果となっていた。</p> <p>④ 1 日学校公開日を「道徳の日」と設定して、その日の様子を学校ホームページで公開し、保護者や地域に発信することができた。夏休みに取り組んだ研修会で学んだことを授業に生かすことができ、普段から意見を交流する授業に取り組んでいる。今年の「道徳の日」では指導内容項目を全校で統一したものとそろえることができなかつたが、今後はより指導が深まるように「道徳の日」で公開授業に取り組む内容も含めて年間計画を見直しより計画的に実施していく。</p>	

#### 後期への改善点

- ① 対応が難しい案件や今後いじめにつながる可能性がある小さなトラブル（いじめの芽）は決してなくなることはないという危機感をもち、今後も継続して「いじめ」「いのち」について考える授業の実施と丁寧な聞き取りと対応を続けていく。
- ② 万一に備えた訓練など、次のステップに進めた訓練を段階的に計画していく。
- ③ 「自分のよいところを見つけることができたか」の肯定的回答率は 86%であることから、これからも継続してお互いのいいところを見つけ伝え合い、自分に自信がもてるような取り組みを続けていく必要がある。
- ④ 生活振り返りカードに「主に道徳の学習のとき、自分や友だちのことをじっくり考えた」という項目があり今回その肯定的回答は 92%だったが、今後指標にいれるか検討していく。

## 大阪市立東粉浜小学校 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <p>○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を 45%以上にする。(R5 年度 43.6%)</p> <p>○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 73%以上にする。(R5 年度 71%)</p> <p>○令和 6 年度末の校内調査において、「早寝・早起きができている。」に対して肯定的な回答をする児童の割合を 80%以上にし、「毎日朝食を食べている」に対して肯定的な回答をする児童の割合を 90%以上で維持する。</p> <p>(R5 年度 早寝早起き 75.9%、朝食 96.1%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p><b>取組内容①【4 誰一人取り残さない学力の向上】</b></p> <p><b>「主体的・対話的で深い学び」の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内研究をすすめ、全学年で思考ツールを活用した主体的・対話的で深い学びを取り入れた授業研究に取り組むと共に全教員が 1 人 1 回の公開授業を行い、全教員の指導力を高めていく。</li> </ul> <p>( )</p>	
<p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活振り返りカードにおいて、「授業で自分の意見を言ったり、友達と話し合ったりすることが楽しい」を肯定的に答える児童の割合を 85%以上で維持する。(R5 年度 92.0%)</li> <li>・年度末の教員アンケートで「授業に ICT を活用して指導する能力」の項目について、肯定的に回答する教員の割合を 80%以上にする。</li> </ul> <p>( )</p>	B
<p><b>取組内容②【4 誰一人取り残さない学力の向上】</b></p> <p><b>英語教育の強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年週 2 回のフォニックス活動、3・4 年生の外国語活動、5・6 年生の外国語科を中心とした決められた時間を、ヒアリングとアウトプットを意識して実施する。</li> </ul> <p>( )</p>	B
<p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活振り返りカードにおいて、「英語の学習は楽しいですか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上で維持する。(R5 年度 86.9%)</li> </ul>	

<p><b>取組内容③【5 健やかな体の育成】</b></p> <p><b>体力・運動能力向上のための取組の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪府の体育応援・向上事業の取り組みや体力向上推進事業、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の分析も参考にしながら、体育科の学習時間内の運動量の向上、ならびに普段の生活の中での運動（外遊び）する習慣が身につくようする。</li> <li>・体育的行事やチャレンジ大会、頑張りカードの活用、校内での表彰等、児童の体力向上への意欲をさらに高めていく。</li> </ul>	C
<p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月の生活振り返りカードの運動（外遊び）をしたと肯定的な回答をする児童を85%以上を維持する。（R5年度 86.0%）</li> </ul>	
<p><b>取組内容④【5 健やかな体の育成】</b></p> <p><b>健康教育・食育の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の規則正しい生活習慣が身に付くよう、「早寝早起き朝ごはん」をキーワードに、指導と啓発を行う。</li> </ul>	B
<p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活振り返りカードにおいて、各家庭で決めた時刻で「早寝・早起きができるいる。」に対して肯定的な回答をする児童の割合を80%以上にし、「毎日朝食を食べている」に対して肯定的な回答をする児童の割合を90%以上で維持する。（R5年度 早寝早起き 75.9%、朝食 96.1%）</li> </ul>	
<p style="text-align: center;"><b>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</b></p> <p>① 校内研究をすすめ、全学年で思考ツールを活用した主体的・対話的で深い学びを取り入れた授業研究に計画通り取り組んでいる。また研究視点の中にICTを効果的に活用することを位置づけ、教員と児童と両方の情報活用能力を高めるようにしている。その結果、生活振り返りカードにおいて、「授業で自分の意見を言ったり、友達と話し合ったりすることが楽しい」を肯定的に答える児童の割合は88.2%になっている。</p> <p>② 週2回のフォニックス活動は、実態に応じて、楽しく活動できるような工夫をしながら計画的に進めることができている。今後も時間を確保し、継続していく。生活振り返りカードにおいて、「外国語の学習は楽しい」を肯定的に答える児童の割合は87.1%になり、目標の80%は全体では維持できている。しかし、その内訳は4年生までが約90%であるのに対し、5・6年生になると70%台と落ち込んでいる。これは、5・6年生は外国語科として評価され、難しさを感じ、成績にもつながるため、楽しいという割合が低くなっていると考えられる。</p> <p>③ 生活振り返りカードにおいて「運動（外遊び）をした」と肯定的な回答が84%と目標を下回った。原因として考えられるのは、暑い日が続き外に出て遊ぶことができなかつたことや、端末での課題が増えていることだと考えられる。全体目標指指数は下回っているが、担任の先生と一緒に外遊びをしたり、体育の授業に向けて練習したりする児童がいる。</p> <p>④ 生活振り返りカードにおいて、各家庭で決めた時刻で「早寝・早起きができるいる。」に対して肯定的な回答をする児童の割合は73.4%で目標を下回った。夜遅くまでゲームや動画の視聴をしていたり、習い事で遅くなったりと理由は様々であるが、低学年でも低い傾向にあるのが懸念される。家庭への啓発を積極的にしていく必要がある。「毎日朝食を食べている」に対して肯定的な回答をする児童の割合は95.9%で目標を上回っている。100%の学年もみられる。</p>	

### 後期への改善点

- ① 指標である項目は目標を達成はしているが、昨年度末と比べると約7ポイント下回っているため、主体的・対話的で深い学びをめざし、児童が話し合い活動を通じて他者の意見を聴いて自分の考えをより磨き上げることができれば、話し合い活動の楽しさを感じることができると思われる所以、引き続き工夫して授業研究に取り組んでいく。
- ② 聴く力、話す力だけでなく、書く力もしっかりと定着するような手立てを工夫し、外国語のコミュニケーション力の向上を意識した授業を工夫していく。
- ③ 後期には、なわとび期間やかけ足タイムを計画しており、チャレンジカードや校内表彰を行うことで外に出る機会が増えるようにする。
- ④ 各家庭と連携を強め、各家庭で決めた寝る時刻、起きる時刻を守ることができていれば「早寝・早起きができている」ということを再度指導するとともに、必要以上にゲームや動画視聴などで夜遅くまで起きていることのないように啓発を続けていく。

(様式 2-3)

## 大阪市立東粉浜小学校 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</b></p> <p>○授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 50%以上にする。[ただし、事務局が定める学校行事等 I C T 活用が適さない日数を除く]</p> <p>○第 2 期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準 2 を満たす教職員の割合を 93%以上にする。(R5 年度 92.6%)</p> <p>○生活振り返りカードにおいて「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上を維持する。(R5 年度 84.2%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p><b>取組内容①【6 教育 DX の推進】</b></p> <p><b>ICT を活用した教育の推進</b></p> <p>○主体的・対話的で深い学びを取り入れた授業を進めるとともに、大型モニターや PC、一人一台学習者用端末の活用に努め、ICT を有効活用した授業を学年の発達段階に応じて推進する。</p> <p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活振り返りカードにおいて、「デジタル教科書やパソコンなどを使って学習したことがよくわかった」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。</li> </ul>	<b>A</b>
<p><b>取組内容②【7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</b></p> <p><b>働き方改革の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間外勤務時間を減らし、教職員の健康管理をすすめる。</li> <li>・教科担任制や、SSS の活用、学校行事の精選や会議時間の短縮に努める。</li> </ul> <p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆとりの日や午後 6 時までに退勤する日を週 1 回以上設定する。</li> </ul>	<b>B</b>
<p><b>取組内容③【8 生涯学習の支援】</b></p> <p><b>「大阪市子ども読書活動推進計画」に基づいた取組</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが読書を好きになる仕掛けをできることから積極的に取り組んでいく。(読書タイム、おすすめ本の紹介、読み聞かせ、本の帯づくり等)</li> </ul> <p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活振り返りカードにおいて、「読書は好きですか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上で維持する。</li> </ul>	<b>A</b>

### 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

① 生活振り返りカードにおいて、「デジタル教科書やパソコンなどを使って学習したことがよくわかった」の項目について、肯定的に回答する児童の割合は 91.8% と目標を上回っている。どの教科においても指導者が ICT 機器を効果的に活用して授業に取り組んでいる。また、学年に応じた一人一台学習者用端末の活用が進んできており、文房具の一部になってきている。

また、授業日において児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数は、始業式や終業式、入学式などの特別な日を除けばほぼ 100% である。

② ゆとりの日を週 1 回設定されているので、早く帰るきっかけになっている。また、普段でも 19 時には退勤するように呼び掛けている。時差勤務で効率的に働くようになったとの声もある。来年度に向け、教科担任制や WLB 支援員や SSS の活用も引き続きしていきたい。

また、第 2 期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準 2 を満たす教職員の割合は、9 月現在 100% となっている。

③ 図書に関する取組を実施することができていて、昼休みの図書館開放や図書の時間を楽しみにしている児童が多い。そのため、生活振り返りカードにおいて、「読書は好きですか」を肯定的に答える児童の割合は、92% になっている。図書館司書と連携して、国語科の学習の中で本を紹介したり学級の係活動で読み聞かせをしたりする等、本に触れる機会が多くある。

### 後期への改善点

① 課題としては、児童が端末を使ったことで、より分かったかどうかを判断するのは難しいことがあげられる。また、教員の活用方法で差があり、ICT の有効活用については知りえた情報を共有してブラッシュアップしていく、目標の指標を継続させていく必要がある。

② 学校行事については、さらに学年によって行事を再度見直す必要がある。また、週 1 回、6 時間授業でも校時を工夫することで 15 時頃に下校できるように見直しできないか検討していく。

③ 落ち着いての読書の時間や一台端末との両立が難しい。学習内容や扱いたいテーマを共有し、今後も継続して読書環境の充実に努める。